

心の聴診器

地元の病院でじっくり研修したい、また総合力も専門力も身につけたい、と思いこの病院を選びました。ここでは、内科系・外科系のほとんどの診療科が揃い、common diseaseから3次救急の疾患まで幅広く学ぶことができます。また熱心な指導医の先生方が多い点や、分からない症例について相談したり、切磋琢磨しあえる仲間の研修医が多い環境もこの病院の魅力だと感じています。研修を始めてしばらくした頃、ある患者さんから「医師はいのちに触れる仕事。心の聴診器をもって。先生はよく話を聞いてくれるから嬉しい。」と言われたことがありました。ベッドサイドに足を運び、患者さんの生の声を聞くことの重要さに改めて気づかされました。初心を忘れず日々研修に励みたいと思います。



<研修プログラムの特徴>

当院の研修プログラムは、“全身をしっかりと診ることができる医師”の育成(臨床力)を目指したものであり、将来、いずれの専門医をめざすにせよ、必要な能力の育成と考えます。Cool Head, Warm Hands, Hot Heartの3つのHが行動指針、Contribution, Confidence, Total Careの3つのCが行動目標です。



宮本由夏 研修医／1年目 (徳島大学卒業・徳島県出身)

徳島県立中央病院

〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目10-3 徳島県立中央病院総務課総務担当
TEL: 088-631-7151 (内線2716) FAX: 088-631-8354
E-mail: kenshu@tph.gr.jp
URL: http://www.tph.gr.jp/kenchu/

検索 → 研修医資料

最高のチーム

徳島市民病院を選んだのは、学生の時テニス部に所属していた先輩から、当院の研修内容を教えていただいたことがきっかけです。徳島市民病院での、我々研修医は、指導医の先生だけでなく、他科の先生、コメディカルの方々、事務の方々と様々な人からチームの一員として受け入れられ支えられて臨床の現場に立っています。そんな最高のチームの中で成長させてくれています。まだまだ思っていた以上に自分が何もできないことを痛感していますが、恵まれた環境の中で、できないことを一つずつ克服し、レベルアップしていくことに、喜びを感じています。



板東悠太郎 研修医／1年目 (徳島大学卒業・徳島県出身)

<研修プログラムの特徴>

医師としての人格の涵養を図るとともに、日常診療で頻繁に遭遇する病気や事態に適切に対応できる基本的診療能力(態度、技能、知識)の修得を目指します。研修は、内科6カ月、救急3カ月(うち1カ月は2年目の救急当直を1カ月に換算したものとして取り扱います。)及び地域医療1カ月を必修とします。また、選択必修として外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科で合計7カ月の研修を行います。指導体制は指導医とのマン・ツー・マン方式を基本とします。救急患者への対応は副当直として従事し、基本的知識、緊急の手技、検査などを修得します。

徳島市民病院

〒770-0812 徳島市北常三島町2丁目34番地 事務部管理課庶務担当
TEL: 088-622-9323 (直通) FAX: 088-622-5313
E-mail: kanri@hosp.tokushima.tokushima.jp
URL: http://www.city.tokushima.tokushima.jp/siminbyoin/

検索 → 研修医資料



JA 徳島厚生連 阿南共栄病院

●病床数: 343床
●標榜科: 内科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、代謝内科、内分泌内科、神経内科、漢方内科、リウマチ科、消化器内科、小児科、外科、こう門外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、眼科、放射線科、麻酔科
●医師数: 34人 ●指導医数: 14人

JA 徳島厚生連 吉野川医療センター

●病床数: 290床
●標榜科: 内科、消化器科、循環器科、小児科、外科、肝門科、脳神経外科、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科、放射線科
●医師数: 35人 ●指導医数: 21人

徳島県鳴門病院

●病床数: 307床
●標榜科: 内科、循環器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、形成外科
●医師数: 47人 ●指導医数: 26人

徳島県保健福祉部医療政策課

〒770-8570 徳島市万代町1-1
TEL: 088-621-2738 FAX: 088-621-2898
e-mail: iryo@mail.pref.tokushima.lg.jp
URL: http://our.pref.tokushima.jp/dr-bank/



一般社団法人徳島県医師会

〒770-0861 徳島市住吉4丁目11-10
TEL: 088-622-0264 FAX: 088-623-5679
e-mail: ishikai@tokushima.med.or.jp
URL: http://www2.tokushima.med.or.jp/

徳島健生病院

●病床数: 186床
●標榜科: 内科・外科・整形外科・眼科・小児科・循環器内科・呼吸器内科・血液内科・消化器内科・糖尿病内科・心療内科・肝門外科・麻酔科・リウマチ科・リハビリテーション科・放射線科・精神科
●医師数: 14人 ●指導医数: 5人

徳島県立中央病院

●病床数: 460床
●標榜科: 内科(総合診療科)、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、神経内科、精神科、小児科、放射線科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科
●医師数: 140人 ●指導医数: 74人

徳島市民病院

●病床数: 339床
●標榜科: 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、大腸・肝門外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、内視鏡外科、心血管外科、脳神経外科、整形外科、

リハビリテーション科、小児科、産婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、放射線科、泌尿器科、麻酔科、心療内科、精神科、形成外科、病理診断科、臨床検査科、腫瘍内科、腫瘍外科、血液腫瘍内科、腫瘍精神科、緩和ケア内科
●医師数: 60人 ●指導医数: 29人

徳島赤十字病院

●病床数: 405床
●標榜科: 内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、麻酔科
●医師数: 122人 ●指導医数: 58人

徳島大学病院

●病床数: 696床(医科・歯科)
●標榜科: 内科、循環器内科、神経内科、精神科、小児科、外科、心血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科
●医師数: 237人 ●指導医数: 80人

facebook open!

Photo: Michiya Tsubone MSIDESIGN, Inc. design: Mitsuo Miyamoto



徳島県臨床研修病院ガイド

TOKUSHIMA 2015



徳島県臨床研修連絡協議会

次へ繋ぐ

青井 駿 研修医／1年目
(徳島大学卒業・徳島県出身)

私は、自分の直感を信じて進んできています。鳴門病院を選んだのは、最終的には「直感で、気づいたらここにいた。」徳島がいいと思ったのも、あまり実感はありませんが、どこかで自分の中に郷土愛が根付いているのかも知れません。鳴門病院がいいと思ったのも、分らないことがあっても、落ち込んだり、傷ついたりすることがあっても、きつと優しく支えてもらえるような優しい雰囲気がこの病院にはあると思ったのです。事実、日々の医療の現場では、辛いことや悲しいこと、理不尽なこともあります。そういったとき、患者さんの言葉や、同期との相談が支えになっています。周囲の皆さんに支えられているから、頑張れるんだと感じています。目指す医師像については、直感も進化しています。目標とは経験を得ていく中で、次々と形を変えていくものだと考えます。だから、徐々に目標を定めていけば良いと思いますが、当面の目標は、次へ繋げられる医師です。



徳島県鳴門病院

〒772-8503 徳島県鳴門市撫養町黒崎字小谷32番
徳島県鳴門病院人事課 TEL:088-683-0011 FAX:088-683-1860
E-mail: syomu@naruto-hsp.jp
URL: http://naruto-hsp.jp/

検索 → 研修医資料

＜研修プログラムの特徴＞ 地域中核病院および救急指定病院として、日常診療において遭遇する頻度の高い疾患についてのプライマリーケアを中心に、幅広い実践的な診療技術を修得できます。研修プログラムは、内科6カ月、救急4カ月、地域医療1カ月を必修科目とし、外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科を選択必修科目とし経験することができます。また、選択科は11カ月と選択の幅を広げ、将来の進路に応じて希望に沿った研修が行えるように配慮しています。

私にできること



森脇由香 研修医／2年目
(徳島大学卒業・愛媛県出身)

徳島大学病院

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1 徳島大学病院卒後臨床研修センター
TEL: 088-633-9359 FAX: 088-633-9358
E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp
URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp/

検索 → 研修医資料

私は産婦人科研修プログラムを選択していますが、これは医学部3年時に不妊治療で悩んでいる患者さんに出会い、どうにかしてあげたい、私にできることはなんだろうと思い、産婦人科医になりたいと考えようになったことから選択しました。1年目は出身地である愛媛県の愛媛県立中央病院で初期救急対応を中心に研修を行い、2年目は学生時代を過ごした第2の故郷である徳島大学病院で産婦人科を中心に臨床研修を行っています。徳島大学病院では、専門性の高い先端医療に触れる機会が多く、ここでしっかりと知識と技術を身につけたいと思っています。まだまだ私にできることは余りありませんが、研修中は、忙しい中でも熱意をもって優しく、そして時には厳しく指導頂いた指導医の先生の「all for the patients !!」の言葉と患者さんから「先生が来ると元気が出るよ!」と言って頂いたことを胸に日々精進していきたいと思っています。



＜研修プログラムの特徴＞ 大学病院ならではの3年目以降の専門医研修につながる研修プログラムを用意しています。協力病院も徳島県だけではなく、日本全国に存在し、各研修医が充実した研修を行えるよう、数多くの選択肢があります。また、2年間の臨床研修では、プライマリ・ケアを中心とした基本的な診療能力を習得できるように計画しています。

父の背中を見て

阿部夏季 研修医／1年目
(徳島大学卒業・徳島県出身)



徳島赤十字病院を選んだ理由は、出身地だからというのがありますが、まずは「断らない医療」という理念に惹かれたことが大きいです。徳島県唯一の高度救命救急センターであり、救急専門医の指導で救急対応の力を身に付けることができるのも魅力でした。また、今年の4月からは県民の救命率の向上を図るべくドクターカーの運用を開始しましたが、私自身も少しずつですが成長を実感しています。将来の進路は、まだ決めていませんが、憧れの医師は麻酔科の父です。幼い頃に見た、病院からの呼び出しに文句ひとついわず飛び出し、行く父の姿を鮮明に覚えていて、自然と医師になる志を持ちました。医療の知識や技術に偏り、ただ治療するだけの医師でなく、患者さんに寄り添い、苦しみを理解できる父のような医師になることが目標です。



徳島赤十字病院

〒773-8502 徳島県小松島市小松島町字井利ノ口103番
徳島赤十字病院 研修医医局
TEL:0885-32-2555(内線5415) FAX:0885-32-6350
E-mail: kensyui3@tokushima-med.jrc.or.jp
URL: http://www.tokushima-med.jrc.or.jp

検索 → 研修医資料

居心地、とてもいいです

医局内で各科の先生がおられるため、分からないことや気になること、問題点などはいつも相談できる環境にあります。ジェネラルな視点を持ちつつ、専門分野を極めている経験豊富な先生方の指導のもと、幅広い研修を行うことができます。また、診療に必要な手技の研修も同時に行いながら、common disease を数多く経験できるため、大変勉強になっており共栄病院の素晴らしいさを実感しております。



＜研修プログラムの特徴＞

この研修プログラムでは、阿南共栄病院を基幹型臨床研修病院とし、協力型臨床研修病院(徳島大学病院)とで臨床研修病院群を構成し、研修医の受け入れを行う。本院研修プログラムの特徴は、内科研修における各診療科単位の縦わりではなく、6カ月間、すべての内科小診療科を同時平行で行う全人的研修である。

JA 徳島厚生連 阿南共栄病院

〒779-1198 徳島県阿南市羽ノ浦町中庄蔵ノホケ36番地
阿南共栄病院 事務部管理課 TEL:0884-44-3131 FAX:0884-44-4179
E-mail: kanrika@ja-kyoei-hospital.jp
URL: http://www.ja-kyoei-hospital.jp

検索 → 研修医資料

素晴らしい環境の中で、地域医療を

JA徳島厚生連 吉野川医療センター

〒776-8511 徳島県吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島120 事務部管理課
TEL:0883-26-2222 FAX:0883-26-2300
Email: kanrika4@ja-ymc.jp URL: http://www.ja-ymc.jp/

検索 → 研修医資料

＜研修プログラムの特徴＞ 徳島県中部～西部にかけての診療圏を持つ二次救急病院であり、人口過疎地域であり、かつ医師不足地域であります。そのため様々な疾患に対応出来る能力が必要とされます。これにより高度な医療を担うための基礎を養成します。また中～西部の各診療所との密な医療連携が必須であり、特に山間過疎地域での地域医療研修が可能です。更に各科の連携が密であり、また国公立病院にない自由さが特徴です。

平成27年5月より、新しくなった吉野川医療センターの特徴は、病院全体で研修医を育てていくというすてきな雰囲気があります。様々な分野の先生やスタッフとのよい関係はもちろんですが、特に、みなさんが研修医の顔を覚えてくださり、さらに、自由に動いていろいろなお話が学べるということとても豊かな環境です。科の垣根を越えて手技がある時に呼んでいただけるのも研修医の少ないことのメリットだと思います。私は東京出身ですが、ここを選んだのは、自然あふれるこの風景も理由のひとつです。素晴らしい環境でのびのびと研修をさせていただいています。将来、地域医療を担っていくひとりと、頑張りたいと思っています。

小淵香織 研修医／1年目
(徳島大学卒業・東京都出身)



若佐昌美 後期研修医／6年目
(徳島大学卒業・徳島県出身)